

ゆらの里、ゲストハウスから眺める山々が紅葉し、夕日に美しく輝いています。

すっかりご無沙汰しておりました。みなさまお元気でおすごしでしょうか？

ゆらの通信をようやく発信できます。この夏は、こども森林博士号講座で次々とこども博士が誕生し、夏休みには森に仲間入りしたニワトリ達と走りまわる声でにぎやかでした。植林した木々もすっかり根をはり大きく育っています。ゆらの活動も木々と共に日々成長していきたいと思っています。

11月8日早朝、バラバラという音で目がさめると、大粒のアラレが降っていました。

今年の初氷もこの朝発見しました。そろそろ冬支度です。

2006 夏～秋の活動報告

6月24日から7月10日 養蚕

今年で二年目の養蚕。お蚕さんは、桑の葉を与えると待ってましたと言わんばかりに本当においしそうに食べていきます。



7月31日 真夏の夜空と夜の虫

この日は七夕(旧暦)。この日は天気もよく宇宙に浮かぶ天体が集まった人達を惹きつけました。舟形の月・木星・ベガとアルタイルなど、星の世界を久万高原天体観測館の中村彰正氏に案内していただきました。

そしてすぐあと、ゲストハウスの前に明かりを用意し、由良野の森の夜に活動する虫達を誘いました。案内は山本栄治氏。星たちに負けず美しく神秘的な生き物達を楽しみました。



8月2日 ニワトリがやってきた

たまたまご縁があってやってきた5羽のニワトリ。一番大きなのは雄鶏で名前は「次郎」。残りの4羽は雌鳥で毎日一個ずつ卵を産んでくれます。朝小屋の戸を開けると、夕方まであちこちで遊びまわり、夕方は小屋の中に自分たちで戻ってきます。



8月6日 第8回こども森林博士号講座「虫をつかまえよう」

今回の講座は、由良野の森を駆け回っていろいろな虫を捕まえてきました。みんなお目当ての虫はいたのでしょうか？見た事のないような生き物たちも講師の山本栄治氏に詳しく説明していただき、虫への関心はさらに深まりました。



8月6日 手打ちうどん体験 -うどんをうって食べてみよう-

今回、うどん屋さん「うどん坊」さんの協力での企画が実現しました。参加者は、まず踏んでこしを出すところからはじめ、のばします。最後に上手に切り揃え、薪で沸かした大釜で湯がいて頂きました。麺の太さがとても大切と食べて気づいた体験でした。



8月19日 劇団ヴォイス 野外公演「真夏の夜の夢」

この野外劇はかなり前から計画準備していただいていた。公演前日18日には、大雨の中劇団の皆さんが立派なセットをつくりました。そして当日19日青空の下、森の緑がまぶしく、トンボが飛び交う中、観客は劇の中にひき込まれていきました。また、夜の公演は、虫たちの大合唱の中、夜の森は幻想的にライトアップされ「真夏の夜の夢」を満喫しました。



10月15日 第9回こども森林博士号講座

今回は小川の観察。由良野の森に上がってくる2キロ手前にある二名川で行いました。はじめ「水が冷たい」と言っていたこども達も、最後は胸まで浸かっているんな川の生き物達を探し見つけてきました。大きな魚は捕まえる事ができなかったようですが、今回も見事な生き物達を山本栄治氏が詳しく説明して下さい、また水生生物のおかれている状況を伝えていただきました。



10月29日 会員親睦餅つき

「年末の餅つきは積雪で難しいかもしれない。新米が収穫できた頃に」との案で、秋祭り前に行った餅つき。たくさんの方に参加していただきました。森に餅つきの音が響き、とても活気がみなぎりました。参加の皆様のおかげで、ほんとうに美味しいお餅をいただきました。



10月29日 かずらでカゴ編みワークショップ

この籠編みの講師は、由良野の森から2*ほど下の集落に住んでいる玉井さんです。材料のかずらは、乾燥してあったものを水に浸けて戻してあり、一晩乾かして用意しました。今回、籠の基礎になる編み方3種類を習いました。参加者の皆さんは、それぞれ個性的な籠や帽子を編みあげていました。これから籠を持って山菜・キノコ・木の実採りが楽しみです。



11月2日 秋祭り

この日久万高原町は秋祭り。由良野の森のある二名地区は神輿のほかに獅子舞があり、ここ由良野にも来ていただきました。ゲストハウスに神輿が入り、玄関前で獅子が舞いました。由良野に神輿が来たのは50数年ぶりだそうです。



11月5日 第10回こども森林博士号講座

今回は草の実をみるです。由良野の森を皆で歩き回り、服にくっつく草の実を体中に付け、それを顕微鏡で見えます。「あの草の実がこんなになっていたとは」。参加者全員はじめて見る草の実のミクロな世界に感心しました。草の実といえば、由良野の森のニワトリたちもエノコログサ草の実をはじめ草の実大好き。秋に実る「雑草の実」は野鳥たちの大切な食料だったのです。ニワトリを見ていて初めて気付きました。



12月3日 第11回子ども森林博士号講座

11回目は「木を切り倒してみよう」で実際にノコギリを使い、ヒノキの除伐実習を行いました。子どもたちは木の切り倒し方を教えてもらったあと、樹高5・6メートルの木を次々と上手に倒していきました。林は木々の間が広くなり、枝がぶつからなくなりました。



事務局より

事務局がここ由良野に引っ越してから8ヶ月が経ちました。ゆらの主催の行事は通信に掲載分だけですが、それ以外に企画もあり、夏の間はたくさんの方に来ていただいて、由良野はずいぶん賑やかでした。

この秋共生林内で渡り鳥の調査も行われ、居合わせた方は普通見る事のないような珍しい野鳥を見ることができました。450羽の足に鑑札が付けられ、野鳥の貴重な資料ができました。共生林の手入れにより、小さな渡り鳥がたくさんやって来たようです。(由良野の森で野鳥観察される方の為のフィールドスコープの寄付を募ります。[ニコンフィールドスコープ ED-]中古でも結構です。詳しくは事務局まで) 観察された野鳥の写真は事務局にあります。ゲストハウスで御覧になれます。

紅葉も終わり。雪の季節もすぐです。お越しの折は積雪の有無をお尋ね下さい。薪ストーブを焚いてお待ちしております。

ゆらの事務局 Ph/Fax 0892-21-8076 <http://www.yuranonomori.jp>